

第5章 計画の推進に向けて

1 取組の指標

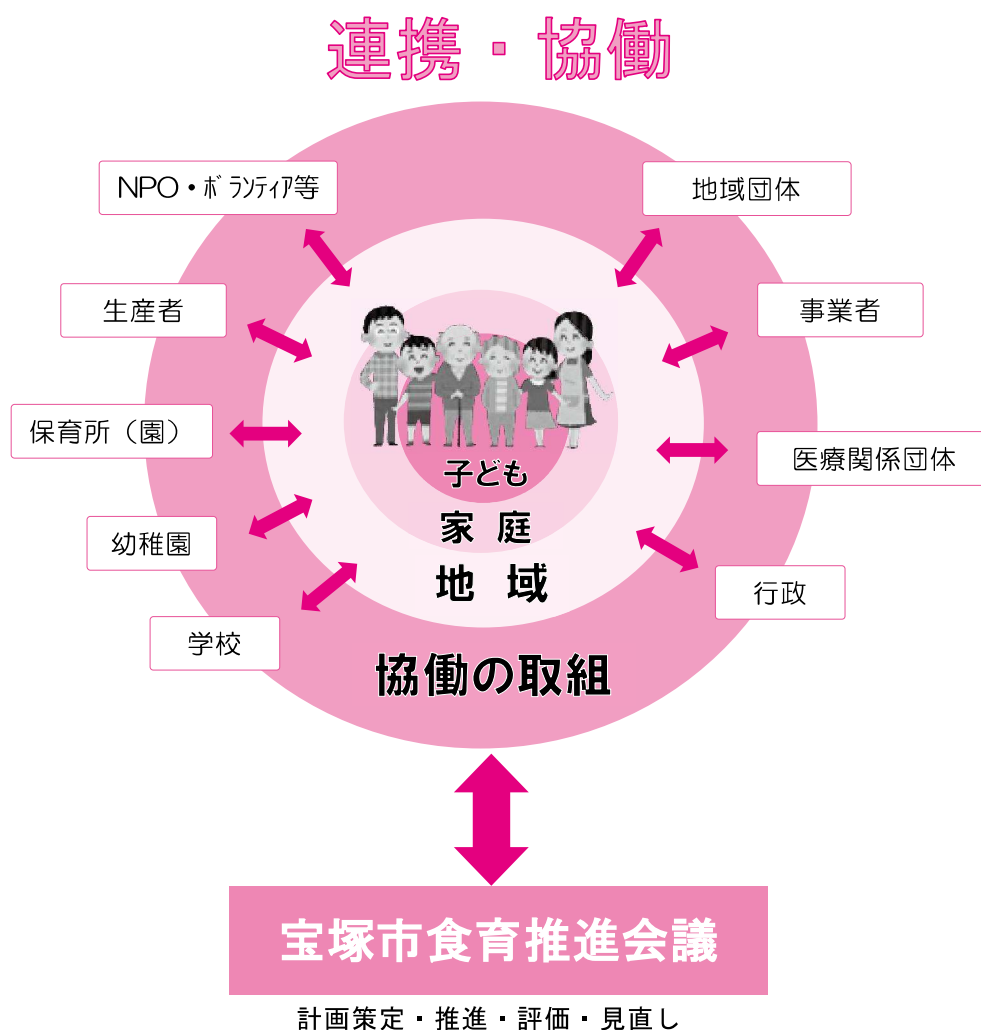
食育の推進にあたっては、県や市、食育関係団体をはじめ、多くの関係者の理解と協力のもとに取組を進めることが大切です。そのためには、取組の成果を客観的に把握することが有効です。

そこで、食育を推進するにあたってふさわしい目標と指標（P20～21 参照）を設定し、5年後を目途にした目標値を定め、その達成を目指して、施策の方向に沿った取組を進めていきます。

2 推進体制

本市の食育の推進は、「市民」が主役です。

「市民」を主体として、「健康」「教育」「農業」「産業」「環境」等、幅広い分野にわたる「食育」について、食にかかわる関係者や関係団体が連携・協働を進めるとともに、宝塚市食育推進会議を中心に、食に関する市民の様々な意見を把握・反映させることで、市民と一体となった食育の推進に努めます。



3 新しい生活様式^{※P1}での食育推進

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式^{※P1}やデジタル化に対応した食育推進が求められています。

そこで、具体的な施策を展開していくにあたっては、デジタル技術を有効活用し、オンラインによる講座を開催するなど、自宅や家庭で知識の習得や参加ができる手法を検討していきます。

また、デジタル化に対応することが困難な高齢者等に配慮した啓発にも取り組みます。

4 食育推進を目指したネットワークの強化

市や教育機関だけでなく、食にかかわる関係団体等が様々な食育活動を行い、食育推進の土壌が築かれつつあります。

今後さらに食育を推進するため、第3次たからづか食育推進計画の理念を理解した上で、様々な分野で食育活動に取り組む関係者や関係団体が情報を共有し、つながりを深めることができるよう、ネットワークを強化し、協働・連携しながら食育の普及・啓発に取り組んでいきます。

5 計画の進行管理

本計画を効果的に推進するため、この計画書に盛り込まれた各事業等の推進状況を、毎年度「宝塚市食育推進会議」に報告し意見を求め、次年度の事業へ反映します。